



専攻医の声 Q&A



小児科コース
(令和7年度修了)
山口 颯矢

Q プログラムの特色を教えてください。

A 当センターのプログラムは、総合診療科を軸に一般小児を幅広く学びながら、高度な専門診療にも触れることができる点が大きな魅力です。日常診療で出会う頻度の高い軽症例から集中治療を要する重症例まで、どの段階においても主体的に関わることができ、疾患の起承転結を学ぶことができます。また PICU・麻酔科の研修が必須であり、小児の全身管理を体系的に習得できます。さらに、日本有数の小児 ER において3年間継続して診療を行うことで、重症例の初期対応の経験を積むことができます。専門診療科も豊富であり、自由に研修を受けることも可能です。さらに、臨床試験科主導の臨床研究に学年で取り組む環境も整っており、臨床・研究の両面で成長できるプログラムです。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A ER・総合診療科・PICU と横断的に経験することで、疾患の初期対応から集中治療、回復に至るまでの一連の経過を学ぶことができました。最も研修期間の長い総合診療科においては、非常に教育的かつ多様なバックグラウンドを持つ指導医の先生方のもと、多角的な視点で子どもを診る力を養うことができました。また、専門診療科の研修も柔軟に選択できるため、自身の関心や将来進みたい分野を見据えた研修内容にアレンジすることができました。学年で取り組んだ臨床研究は着想から発表までの全ての行程を経験できる貴重な機会でした。また、全ての職種が子どもを第一に考える雰囲気職場であり、志の高い同期と切磋琢磨しながら日々成長できたことも大きな財産となりました。